



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2018

No.8 (平成30年 5月21日発行)

宇都宮大学

グローバルサイエンスキャンパス

～成果発表会および修了式～

2018年4月8日(日)、宇都宮大学陽東キャンパスで、GSC(グローバルサイエンスキャンパス)の成果発表会および基盤プラン・才能育成プランの修了式が行われ、本校生6名が参加しました。

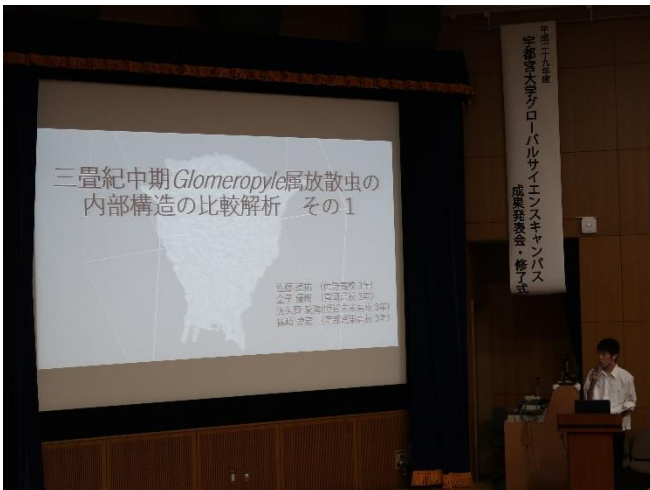
GSCは、将来グローバルに活躍できる「**未来の科学者**」を育成するため、全国の大学で、高校生等を募集・選抜し、国際的な活動を含む理数教育プログラムを行います。宇都宮大学は、平成27年度、GSCに採択され、大学独自の最先端の「**科学人材育成プログラム(IPU アイ・ピー・ユー)**」を実施しており、高く評価されています。今年度は以下の9つの大学で、GSCの講座が開かれる予定です。

宇都宮大学 埼玉大学 静岡大学 金沢大学 福井大学 名古屋大学 大阪大学 神戸大学 広島大学

成果発表会については、「才能育成プラン」に進んだ**佐藤遼佑くん**、**田上真衣さん**が発表を行いました。佐藤くんは、「**三畳紀中期 Glomeropyle 属放散虫の内部構造の比較解析**」という研究タイトルで発表を行いました。放散虫の内部構造を、パソコンのソフトを使用して立体的に再現するなど、大変レベルの高い発表をしました。

田上さんは、世界各地で発生している植物に感染する **Geminiviridae 科 Begomovirus 属のウイルス(ベゴモウイルス)についての調査報告**を行いました。ベゴモウイルスに感染した植物は、全体的に葉が黄化し、生育が停滞してしまうという深刻な症状を引き起こします。田上さんが所属する研究チームは、実際にインドネシアに行ってサンプルを回収するなどして研究を進め、ウイルスの解析に貢献するなど、大きな成果を残しました。

いずれの発表も、来場者からも質問が盛んに出るなど、関心の高さをうかがい知ることができました



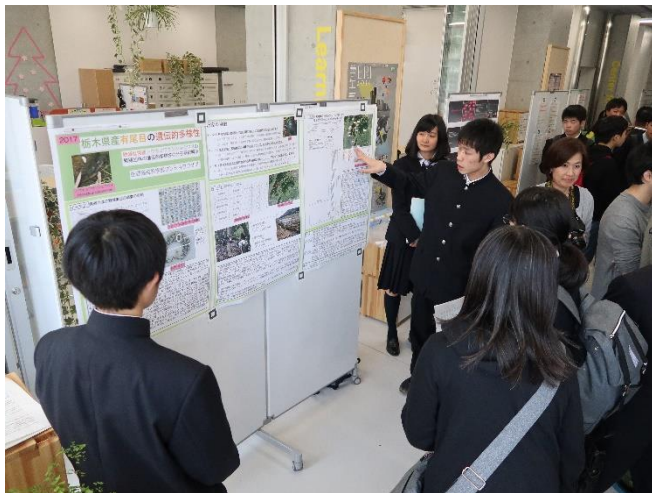
発表する佐藤くん



発表する田上さん

午後はポスターセッションが行われました。成果発表会で発表した2人に加え、昨年度の日本学生科学賞で「読売理工学院賞」を受賞した科学部のメンバー3名も発表を行いました。それぞれのポスターの前には多くの学生や先生方が集まり、研究内容についての質問をいただきました。また、先生方からは、今後の研究の方向性や研究の進め方についてのアドバイスをいただきました。

修了式では、宇都宮大学の石田学長から修了証書が授与されました。**佐高生が大活躍**した一日でした。



発表する科学部



iPU 修了式

～受講生の感想～※一部抜粋

iP-Uの授業を通して、自身が元々興味があった分野だけではなく、幅広い科学の知識を得ることができました。研究を通して、全国の科学者を目指す高校生との交流もでき、自身のスキルアップと視野を広げることができました。

(3-4 佐藤 遼祐)

栃木県内外の受講生と将来や研究について話すことができたのは、とても良い刺激になりました。また、サンプル採集など他では体験できないことも経験できたことはとても大きな“力”になっています。iP-Uはとても楽しいです。自分次第ですが、色々な事に挑戦できる場所です。新しい一歩を進むためにこんなに適するところはありません。ぜひ皆様にも参加していただきたいです。

(3-4 田上 真衣)

今回のiP-Uで、僕は様々な経験をすることができました。植物ウイルスやフォーミュラカーの空気抵抗など、普段の高校の授業では学べない専門的な学習が数多くできました。これからの学習に活かして頑張っていきたいです。

(2-4 安生 温大)

私はiP-Uの授業にすべて出ることができませんでした。しかし、少ない機会の中でより多くのことを学ぶことができた実感しています。iP-Uで学んだことを、これからの学習に活かしていきたいと思っています。

(2-4 齊藤 磨優)

iP-Uでは普段扱うことのないテーマや実験器具に関わることができました。専門的な知識は今の学習にも役だっていて、とても有意義な活動でした。今年度から“才能育成プラン”に進んでハイレベルな研究を行っていききたいです。

(2-4 松澤 あさひ)

今まで知らなかった新しい研究に興味を持ったり、自分と同じ志をもつ仲間に出会ったりすることができました。自分の将来のビジョンが広がる貴重な体験でした。

(2-3 臼居 諒馬)